教育普及 みる・つくる・かんじる
EDUCATION PROGRAM

朝のおとなの１０１０［てんてん］講座・お話から体験まで
美術の世界に親しみやすくなるワークショップ・レクチャーです。
夜は忙しくて参加できない方に向けて、午前１０時１０分から行います。

夜のおとなの金曜講座・お話から体験まで
日常の中にある美術や美術作品のお話会です。仕事帰りのひととき、美術館で過ごしてみませんか。「視るは楽しい教材ボックス」「大分県から絵の具をつくる」「美術からみた文化」「素材と技術」のテーマから行います。

ワークショップ春夏秋冬・体験から鑑賞まで
身体と感覚を活性化させる遊びや制作と、みんなでコレクション展示室の作品を視ることを組み合わせたワクワク・ドキドキのワークショップです。

アトリエ・ミュージアム　みんなでつくろっ！
小さい子どもから大人まで、美術館に来た人は誰でも参加できるワークショップです。
いろいろな素材に触ったり、描いたり、つくったりします。
内容は当日来てのお楽しみです。

特別ワークショップ＆レクチャー
美術の世界が広がるとっておきの時間です。美学・美術史の話や専門的な技法講座をはじめ、美術以外の分野の専門家を招いての講座も開催します。

スクールプログラム
学校や園を対象とした「みる」+「つくる」+「かんじる」を組み合わせた美術体験プログラムや、学校の先生のための講座などを開催します。

共催展
ART GROUP & SCHOOL EDUCATION EXHIBITION

第42回高山辰雄賞ジュニア美術展
会期：8 月 20 日（火）～ 8 月 25 日（日）休展日：なし
会場：3 階 展示室 B/ 料金：無料 / 主催：高山辰雄賞ジュニア美術展実行委員会
お問合せ：大分合同新聞社 イベント事業部　Tel：097-538-9646

第60回記念大分県美術展
会期：9 月 24 日（火）～ 10 月 27 日（日）
休展日：10 月 7 日（月）、14 日（月・祝）、15 日（火）
会場：1 階 展示室 A・3 階 展示室 B / 料金：一般 500 円　大学・高校生 300 円
主催：大分県美術協会 / お問合せ：事務局長　池部俊之　Tel：090-4354-9053

第43回大分県ジュニアデザイン展
会期：2025 年 3 月 18 日（火）～ 3 月 23 日（日）　休展日：なし
会場：3 階 展示室 B/ 料金：無料 / 主催：大分県造形教育研究会

大分県芸術文化友の会
OITA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP
メンバー募集！

「びび」とは、大分県立美術館とiichiko総合文化センターを中心に大分県の芸術・文化を多くのみなさんに楽しんで、そして広げてもらうためのメンバーシップです。大分県立美術館企画展、コレクション展を無料または割引料金でご覧いただけます。

詳しくはこちら　https://emo.or.jp/bivi/

Programs in English

ご利用案内

〈 開館時間 〉10:00－19:00　※金曜日・土曜日は 20:00 まで（入場は閉館の30分前まで）
〈 休 館 日 〉なし（館内点検等による臨時休館を除く）
〈 駐 車 場 〉屋外駐車場（143 台）　利用時間 24 時間
地下駐車場（107 台）　利用時間 8:00～23:00　※利用時間外出入庫不可
利用料金 最初の 30 分以内 無料 / 30 分を超え 1 時間以内 200 円
1 時間を超え 30 分ごと 100 円 ※ただし 23:00 ～ 8:00 は 900 円を上限とする
〈 アクセス 〉JR大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分　大分 IC から車で 10 分

10 OPAM
10th Anniversary

2025年4月に10周年を迎えます

〒870-0036 大分市寿町２番１号
Tel：097-533-4500
Fax：097-533-4567
https://www.opam.jp

大分県立美術館　年間スケジュール

Oita Prefectural Art Museum
Program of the Events

2024.4 ― 2025.3

OPAM
Oita Prefectural Art Museum

コレクション展
COLLECTION EXHIBITION

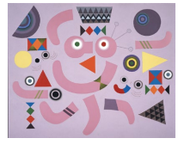
料金　一般 / 300（250）円、大学・高校生 / 200（150）円
会場　3F コレクション展示室

※（ ）内は有料入場 20 名以上の団体料金　※中学生以下は無料　※高校生は土曜日に観覧する場合は無料
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者（1 名）は無料。

コレクション展Ⅰ

アートと遊び心
4 月 5 日（金）～ 6 月 3 日（月）

画家や彫刻家がモティーフ、構図、形や素材などを考える時、ふとしたひらめきや、子どものような「遊び心」が鍵となることがあります。本展では他にはないユニークな発想を取り入れた作品をご紹介します。


宇治山哲平《歓》1975年

コレクション展Ⅱ

水の情景－生々流転
6 月 7 日（金）～ 7 月 18 日（木）

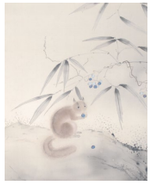
「没後 50 年　福田平八郎」展の開催にあわせて、その主要なモティーフである「水」に着目。山野に降り注いだ雨が姿を変えながら大海へと移り変わっていくさまをさまざまなジャンルの作品でたどります。

岩尾善幸《1996年3月》1996年

コレクション展Ⅲ

かわいい日本美術
9 月 14 日（土）～ 11 月 26 日（火）

日本では古くから、"かわいい"ものを愛でる文化があります。鳥獣や草花をはじめ、小さなもの、素朴なもの等、見ていて思わず微笑んでしまいそうなポイントをご紹介して、各作品の新たな魅力を探ります。


幸松春浦《清夜》（部分）昭和前期頃

特集展示

大分竹工芸名品展－此君礼賛－
特集展示では、大分ならではの竹工芸の歴史と魅力をご紹介します。

植松竹邑《竹編透華籠文組皿》1977年

コレクション展Ⅳ

心のイメージ
11 月 30 日（土）～ 2025 年 1 月 27 日（月）

「生誕 120 周年サルバドール・ダリ」展の開催にあわせて、大分県立美術館のコレクションより、人間の心の内面を写し出した作品をご紹介します。

田口壮《季節の停止》1938年

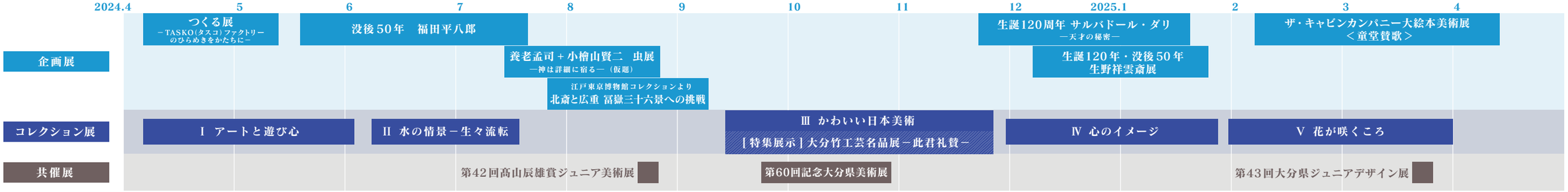
コレクション展Ⅴ

花が咲くころ
2025 年 1 月 31 日（金）～ 3 月 31 日（月）

本展では、大分県の作家を中心に、花に関わる作品を主にご紹介します。新緑が芽吹き、花のつぼみがほころぶ季節です。桃の節句や花見などの行事も行われます。ここ OPAM で春の季節をお楽しみください。

田近竹邨《鴛鴦遊春池図》1919年

◎記載内容には変更が生じる場合があります。予めご了承ください。



Oita Prefectural Art Museum

SPECIAL EXHIBITION

企画展

2024.4 ⟶ 2025.3

今後の展覧会

4/5［金］⟶ 5/6［月・振休］

つくる展
－TASKO（タスコ）ファクトリーのひらめきをかたちに－

日本のものづくりを元気にするアートファクトリー「TASKO(タスコ)」。本展は、TASKO 作品のユニークな視点や発想を五感を使ってさまざまに体験しながら、「つくる」の魅力を発見する展覧会です。

会場　1F 展示室 A

【関連イベント】
鉄道模型大運転会 2024
4/27(土) ～ 5/6(月・振休)

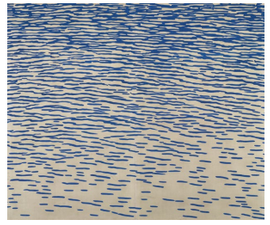
会場　1F アトリウム

Untitled (Making #235), 2021 © Gottingham
Image courtesy of TASKO and Studio Xxingham

5/18［土］⟶ 7/15［月・祝］

没後50年　福田平八郎

大分市出身の日本画家・福田平八郎の没後 50 年の節目に開催する大規模な回顧展。《漣（さざなみ）》（重要文化財）、《雨》などの代表作をはじめ、初期から晩年までの作品を一堂に展示し、日本美術の伝統を継承しながら近代的な新しい日本画の世界を切り拓いた平八郎の画業をご紹介します。



福田平八郎《漣》1932 年
重要文化財 大阪中之島美術館蔵

会場　3F 展示室 B

7/13［土］⟶ 8/25［日］

養老孟司 ＋ 小檜山賢二　虫展
―神は詳細に宿る―（仮題）

解剖学者であるとともに無類の昆虫愛好家、昆虫学者としても知られる養老孟司。深度合成技法を駆使し昆虫写真の新たな可能性を切り拓いた小檜山賢二。本展は、養老の言葉と小檜山の写真をとおして驚きと不思議に満ちた「虫」の世界をご紹介します。

深度合成写真 グンジョウオオコブハムシ

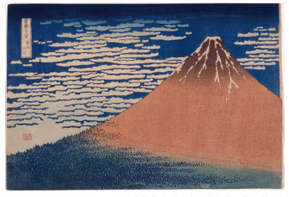
会場　1F 展示室 A

7/26［金］⟶ 9/8［日］

江戸東京博物館コレクションより

北斎と広重 冨嶽三十六景への挑戦

葛飾北斎の「冨嶽三十六景」は、鮮烈な色彩と大胆な構図で人々に強い衝撃を与えました。北斎の大ヒットの陰で、広重はどのように自らの画風を打ち立てたのでしょうか。本展は江戸東京博物館の貴重なコレクションを通して、風景画で双璧をなす北斎と広重のあくなき挑戦の数々をご紹介します。



葛飾北斎《冨嶽三十六景　凱風快晴》
天保 2 ～ 4 年（1831 ～ 33）頃 江戸東京博物館蔵

会場　3F コレクション展示室

11/22［金］⟶ 2025 1/19［日］

生誕120周年 サルバドール・ダリ
― 天才の秘密 ―

ダリの生誕 120 周年、シュルレアリスム宣言 100 年の節目に開催する本展は、諸橋近代美術館の所蔵品を中心にダリの生涯を概観します。ダリが観衆に魅せた「シュルレアリスト・ダリ」とその背景にある「人間・ダリ」の複雑で繊細な内面を探り、作品約 70 件と関連資料から、ダリがいかなる芸術家であったのか明らかにします。

会場　1F 展示室 A

12/7［土］⟶ 2025 1/23［木］

生誕120年・没後50年　生野祥雲斎展

「竹芸」分野初の人間国宝、生野祥雲斎。本展では生誕 120 年・没後 50 年を記念し、その作品の全貌を展示します。唐物風の初期作から、古典的構成に櫛目編を新たな感覚で取り入れた技巧的な作品群、さらに櫛目編を大胆に用いた彫刻的な作品や、晩年の竹の素朴な美しさを生かした作品まで、幅広い作風の展開をご紹介します。

生野祥雲斎《炎》1957 年

会場　3F 展示室 B

2025 2/7［金］⟶ 4/13［日］

ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展 ＜童堂賛歌＞

ザ･キャビンカンパニーは、大分県の廃校をアトリエにし、日々さまざまな作品を生み出している阿部健太朗と吉岡紗希による二人組の絵本作家／美術家。2009年のユニット結成以来手がけてきた40冊以上の絵本や立体作品、舞台美術など、「夢と驚きあふれる現代のアートびっくり箱」ともいえる創作活動の全貌をご覧いただきます。

ザ・キャビンカンパニー《童堂賛歌》2023 年

会場　1F 展示室 A・アトリウム

◎記載内容には変更が生じる場合があります。予めご了承ください。